

9月校長室だより

「城下町いずし」を学校・教室に見立てる教育活動

～学校を出て、地域で学ぶ新しい取組③～

日中はまだ日差しが強い日もありますが、朝夕はめっきり涼しくなり、秋を感じる過ごしやすい季節となりました。

5月号でお知らせしましたように、3つの類型の特色化をさらに進めるため、今年度第2学年人文類型において学校設定科目「地域探究Ⅰ」を開講しました。

1学期は「出石学」を小テーマに6講座（出石焼、出石そば、町家活用、永楽館と伝統芸能、観光コンテンツ作成、観光PR・広報）を担当していただく地域の方々にそれぞれ現地での実習も交えた講義を行っていただきました。

2学期からは「新出石論」という小テーマのもと、各講座6名ずつに分かれ、体験活動・調査研究を行いながら、その中で課題を発見し高校生ならではの視点で新たな提案をしていこうとしています。

講座のうちの1つ、**出石そばの講座**は、出石皿そば協同組合様の全面的なご協力を得て、出石そばの各店主の方々にほぼマンツーマンでそば打ちの指導を受けるところから始めています。今後、体験活動で終わることのないよう、お客様へのおもてなしを考える機会としての接客実習、原材料のそばを栽培している畑での授業、出石そばの歴史を探る授業などを計画しています。



各店主勢ぞろい！



受講者全員でそば打ち（1学期）



そば粉と水



こねる



のばす



切る